

かなしみぽすと創立5周年記念
2回連続公開講座

かなしみと ともに 生きる社会へ

-参加費-
無料

-定員-
各回100名
(要予約・先着順)

一人では耐え難いとき、「この思いに耳を傾けてくれる人がいたら…」と思ったことはありませんか？この講座では、長年にわたり、悲嘆を抱えている多くの人々に寄り添ってきた講師より「傾聴」にまつわるお話をお聞きします。
一人ひとりができるグリーフケアについて考えるきっかけとなればと願います。

日時

1回のみ参加も可能です

✦ 2018年11月6日(火) 18:30~20:30
—災害現場における傾聴—

✦ 2018年11月13日(火) 18:30~20:30
—日常からはじまる傾聴—

場所

✦ サクラファミリア 3階 大聖堂
(カトリックセンター・大阪梅田教会)

大阪市北区豊崎3-12-8 ※地図は裏面にあります

お申し込み方法

✦ HPの申込みフォームよりお申し込み下さい
<https://kanashimi-post.jimdo.com/>

かなしみぽすと 検索

申込フォーム



講師紹介

上智大学グリーフケア研究所特任所長
「生と死を考える会全国協議会」会長

たかき よしこ
高木 慶子



熊本県生まれ。聖心女子大学文学部心理学科卒業。

上智大学神学部修士課程修了。博士(宗教文化)。

現在、上智大学グリーフケア研究所特任所長。「生と死を考える会全国協議会」会長、「兵庫・生と死を考える会」会長。一般社団法人グリーフケアパートナー理事。援助修道会会員。「日本スピリチュアルケア学会」理事長。兵庫県「泉勢高揚功労」(2015年度)、「カトリック大学連盟 カトリック学術研究奨励賞」受賞、「神戸新聞 第63回平和賞」受賞など。

三十数年来、ターミナル(終末期)にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々のグリーフケアに携わる一方、学校教育現場で使用できる「生と死の教育」カリキュラムビデオを制作。幅広い分野で全国的にテレビや講演会で活躍中。

著書として、「喪失体験と悲嘆—阪神淡路大震災で子供と死別した34人の母親の言葉」(医学書院)、「大切な人をなくすということ」(PHP出版)、「悲しみの乗り越え方」(角川書店)、「悲しんでいい～大災害とグリーフケア～」(NHK出版)、最新刊「ありがとう」といって死のう」(幻冬舎)など多数。

“かなしみぽすと”とは？

上智大学グリーフケア研究所の修了生が立ち上げたグループです。グリーフ(悲嘆)ケアについて学んできたことを、今現在何らかの悲嘆を抱えていらっしゃる方に届けられないだろうかという思いで集まりました。

詳しい内容やFAXでの
お申込みは裏面をご覧ください

本企画は「公益財団法人JR西日本あんしん社会財団」の助成金を受けて実施しています。

テーマ

かなしみとともに生きる社会へ

講師

上智大学グリーンケア研究所特任所長
「生と死を考える会全国協議会」会長
高木慶子(たかき よしこ)

日時

＋2018年11月6日(火) 18:30～20:30 ー災害現場における傾聴ー

＋2018年11月13日(火) 18:30～20:30 ー日常からはじまる傾聴ー

* 1回のみ参加も可能です

* 受付開始各回30分前から

場所

サクラファミリア 3階 大聖堂
(カトリックセンター・大阪梅田教会)

定員

各回100名(要予約・先着順)

参加費

無料

お申し込み方法

＋HPの申込フォームよりお申し込み
<https://kanashimi-post.jimdo.com/>

＋パソコン・スマートフォンからのお申し込みが
できない方は下記申込書に記入しFAXでお送りください

MAP



【地下鉄御堂筋線中津駅】3番出口より230m
【阪急梅田駅】茶屋町出口より550m
【JR大阪駅】中央北口より900m

申込フォーム



かなしみぽすと創立5周年記念2回連続公開講座 申込書

ふりがな	-----	ご年齢	TEL	
お名前			FAX	
ご住所	〒			
参加日に ○を	11月6日		・	11月13日

FAX:0797-34-3400

※このFAX番号は本企画申込専用番号です(使用可能期間は2018年11月9日(金)17時まで)

* お知らせいただいた個人情報は、かなしみぽすとのご案内以外に使用しません。

主催・お問い合わせ



かなしみぽすと

検索

✉ kanashimi.post@gmail.com

🏠 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-20
2階 CANVAS谷町L02大阪ボランティア協会内

後援：上智大学グリーンケア研究所
社会福祉法人 大阪ボランティア協会